

文化経済学会〈日本〉
2015年度研究大会シンポジウム

主催



共催

アーツカウンシル東京
〔公益財団法人東京都歴史文化財団〕
ブリティッシュ・カウンシル



Piccadilly Circus Circus ©Justine Simons
六本木アートナイト 2014 ©六本木アートナイト実行委員会

五輪文化プログラムの社会的な意義と役割 ——ロンドン2012の実績と東京2020への展望

2015年7月4日〔土〕

15:15—17:30

駒澤大学 駒沢キャンパス 1号館 1301教室

* 日英同時通訳／参加無料・要申込み／定員400名

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を5年後に控え、文化プログラムへの期待が高まっています。しかし、一過性の文化イベントを開催するだけでは意味がありません。文化プログラムを通じて何を達成し、どのような成果を残すのかを明確にすることが求められています。2012年ロンドン大会の文化プログラムは、かつてないスケールと内容を伴うものでした。それは、英国社会にどのようなインパクトをもたらしたのでしょうか。

シンポジウムでは、ロンドン、キングズカレッジの文化部門ディレクター、デボラ・ブル氏をお迎えし、ロンドン大会の文化プログラムの社会的インパクトやレガシーに関する基調講演をいただいた後、五輪文化プログラムの社会的な意義と役割について、文化政策やアーティストの創造活動への影響、地域活性化、社会包摂、教育、観光、産業、経済等への波及効果など、幅広い視点から検証し、2020年東京大会における文化プログラムの目指すべき方向や課題を展望する予定です。

◎ 基調講演 | 2012年ロンドン五輪 文化プログラムの社会的インパクトとレガシー [仮題]

デボラ・ブル [ロンドン・キングズカレッジ 文化部門ディレクター]

◎ パネル・ディスカッション | 2020年東京五輪文化プログラムへの期待と展望

- パネリスト 真田久 [筑波大学体育専門学群学群長/東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議委員長]
 日比野克彦 [アーティスト/東京芸術文化評議会評議員]
 毛利嘉孝 [東京藝術大学准教授]
 デボラ・ブル
 モデレータ 吉本光宏 [ニッセイ基礎研究所研究理事/東京芸術文化評議会評議員]



Deborah Bull, CBE : Director, Culture at King's College London

Deborah Bull joined King's College London in 2012 to provide leadership across the university to extend and enrich its cultural partnerships. This includes providing a framework through which Culture at King's can: drive innovation - such as establishing the Major Events Consortium which harnesses the knowledge and learning from planning and delivering major events and the added value culture brings; enhance the student experience; offer new ways to demonstrate the impact of academic research and engage new and more diverse audiences with King's. Deborah has had a long and successful career in the arts, as a performer, creative leader and cultural commentator. She danced with The Royal Ballet for twenty years, rising through the ranks to become a Principal Dancer. In 2001, she joined the Royal Opera House executive team, becoming Creative Director in 2008. She has worked extensively for television and radio and writes and speaks on the arts across a range of media. In 2015 she was one of 16 cultural leaders participating at the Davos World Economic Forum.

駒澤大学 駒沢キャンパス

東急田園都市線[駒沢大学駅]下車 徒歩10分

* 当日は国道246号線沿いの[駒澤大学会館246]横からショートカットして大学構内に入ることが可能です。

* 受付は1号館2階でお願いします。

お問い合わせ先:文化経済学会(日本)事務局

(株)ガリレオ学会業務情報化センター内

TEL:03-5981-9824 E-mail:g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp

学会 HP: <http://www.jace.gr.jp/index.html>

* 事務局は7/4より現場作業に入っているため、参加申込に関する直前のご連絡等、確認することができませんので、予めご了承ください。



お申し込みは、下記に必要事項をご記入いただき、Fax:03-5981-9852 にお送りいただくか、件名を[シンポジウム参加申し込み]として下記と同じ内容をメール本文に記載の上、g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp 宛にメールでお申し込みください。

文化経済学会(日本)2015年度研究大会シンポジウムに申し込みます。 申し込み締切:6月22日(月)

フリガナ お名前	ご所属
-------------	-----

連絡先[日中連絡のとれるところをご明記ください]

電話	<input type="checkbox"/> 勤務先	<input type="checkbox"/> 携帯・自宅
E-mail	<input type="checkbox"/> 勤務先	<input type="checkbox"/> 携帯・自宅

* 文化経済学会(日本)会員の方は学会 HP より大会参加登録を行ってください。
 * シンポジウムとは別に研究大会では特別セッション、分科会、エクスカージョンも開催されます。そちらも申し込まれる方は学会 HP でご確認の上、申し込みをお願いします。分科会、エクスカージョンへの参加は有料となっています。
 * 参加確認のご連絡・登録証の発送等はしていません。ご了承ください。
 * 頂いたお名前、ご連絡先等個人情報は、本大会の申込に係る連絡以外の目的には使用せず、大会終了後、当学会事務局の責任において直ちに抹消させていただきます。